

アジア研究教育ユニット（特別経費）平成 30 年度教育研究報告書

事業課題名	学生・院生および引率教員の海外派遣／国立政治大学・国立台湾大学
代表者名	久野秀二（経済学研究科）
事業概要 (600 字程度)	<p>経済学研究科が国立政治大学・社会科学院と 2005 年に、国立台湾大学・社会科学院と 2015 年にそれぞれ締結した交流協定に基づき、台湾への短期学生派遣プログラムを行った。台北市にある国立政治大学と国立台湾大学では、それぞれの大学の協力を得て国立政治大学の教員による講義を行い、大学院生合同ワークショップを開催したほか、台湾日本関係協会や光寶科技公司（LITE-ON）を訪問した。また、近郊の新北市三芝社区と竹子湖へのフィールド・トリップを実施した。</p> <p>両大学との中長期的な協力関係の構築を兼ねて参加した教員 4 名の引率のもと、経済学研究科の東アジアコースに所属する大学院生 14 名、経済学部学生 1 名の計 15 名が参加した。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>本プログラムは経済学研究科の国際プログラム「東アジア持続的経済発展研究コース（東アジアコース）」の配当科目である「Overseas Field Research」および「Field Research in East Asia」を兼ねて 2018 年 11 月 21 日から 27 日までの 7 日間にわたり実施され、経済学研究科の大学院生 14 名および学部生 1 名が参加した。東アジアコースの科目と兼ねる形で台湾への派遣プログラムが実施されるのは初めてのことであり、国立政治大学および国立台湾大学の全面的な協力を得ながら、①台湾の文化・政治・経済に関する、産業関係者を含む講師陣による講義と、文化施設・現地企業など各講義に関連したフィールド・トリップとを組み合わせた短期研修、②国立政治大学・社会科学院、国立台湾大学・社会科学院との 3 大学合同の大学院生ワークショップ、③台北近郊へのフィールド・トリップ、を主な内容として実施した。</p> <p>①講義に関連した研修としては「台湾の国際関係と中台関係」に関する講義と台湾日本関係協会への訪問、「台湾の企業と産業」に関する講義と光寶科技公司（LITE-ON）への訪問を組み合わせることで、台湾の情勢を内側と外側双方の視点から学ぶ機会を得られた。また、②③ 大学合同のワークショップを開催することで学生同士の交流を促したほか、今後の連携の強化につながる活動を展開できた。国立政治大学の協力によって実施された③フィールド・トリップでは新北市三芝社区と竹子湖を訪れ、国立台湾大学生物資源農学院の教員および国立政治大学の学生も同行し、交流を深めることができた。さらに、農業・農村振興や観光農業の実例を目の当たりにしながら、現地観光協会などの関係者による講義も実施したことで①の要素を盛り込み、座学では拾いきれない、現地調査に基づく深い理解を得ることができた。</p>